

2026 年度 関西モノづくり大会

人が輝く、IEが支える、未来を創るモノづくり

～知恵とデジタルで新しい現場を切り拓く～

2026 年 **10月27日(火)**、**28日(水)**、**11月4日(水)**

来場参加(1日目)：大阪府立国際会議場 オンライン参加(1日目)：ライブ配信

[1日目は、来場・オンライン参加から選択可。2・3日目は、現場見学会]
※大会終了後、アーカイブ配信をご利用いただけます(許可をいただいた講師のみ)。

日本のGDPの2割を占める製造業は、これまで高品質と優れた技術力により世界のモノづくりを牽引してきました。しかし、少子高齢化に伴う熟練技術者の高齢化と若手人材の不足による「技術継承」が深刻な課題となっています。加えて、技術革新の加速や国際競争の激化、調達・物流コストの高騰など、製造現場を取り巻く環境はかつてない複合的かつ激しい変化の波に直面しています。

こうした課題を克服し、持続的な成長を続けるためには、フィジカルAIやIoTを活用したデジタル変革を手段とした生産性向上と、従来のモノづくりから、データと技術を活用したスマートファクトリーへの転換が急務となります。そのためには、熟練技術者の「暗黙知」をデジタル化し、AIや自動化技術と組み合わせることで、人手不足の解消や技術継承の円滑化、現場の判断業務をAIが支援することで人がより高付加価値な作業に集中できるなど、柔軟で強固な生産体制の構築が必要です。

これからの国際競争を勝ち抜くには、「人への投資」と「デジタル技術の活用」を両立させ、新たな現場を創造することが重要な鍵となります。そして、これらを支えるものとしてIEがあり、さらには人を中心として考えることを忘れてはなりません。

そこで本大会では、人とAIが共存する新しい現場づくり・人づくりを模索し、未来のモノづくりを拓けるよう、「人が輝く、IEが支える、未来を創るモノづくり」を大会テーマとしました。次世代の製造業を担う多くの皆様のご参加をお待ちしております。



■基調講演

「ロボットと共に歩むスマート社会: Wellbeingの新たなカタチ」

川崎重工業(株) 執行役員 社長直轄プロジェクト本部長

兼 ソーシャルロボット事業戦略部長 加賀谷 博昭 氏



■特別講演

「サイバー攻撃によるシステム障害時の物流対応について ～物流現場で何が起きていたのか!～」

アサヒグループジャパン(株) ロジスティクス戦略部 部長 井石 明伸 氏

【事例発表会】(6社)

アスカカンパニー(株)、(株)Ollio、花王(株)、三菱電機(株)、パナソニック オートモーティブシステムズ(株)、ヤマハ(株)

【現場見学会】(3社)

セキスイハイム工業(株) 近畿事業所、プライミクス(株) 本社工場、村田機械(株) 加賀工場

- 主催 (公財)関西生産性本部 / 関西インダストリアル・エンジニアリング協会(関西IE協会)
- 協賛 (公社)日本経営工学会

大会組織

2026 年 9 月

(敬称略・順不同)

会 長	パナソニック ホールディングス(株) MI 本部本部長	松 本 敏 宏
副会長	(株)神崎高級工機製作所 代表取締役社長 (株)クボタ エグゼクティブオフィサー 機械グローバルオペレーション本部製造統括ユニット長 住友電気工業(株) 執行役員 生産技術本部副本部長 ダイキン工業(株) 常務執行役員 空調生産本部長堺製作所長 ダイハツ工業(株) 生産調達本部主査 東洋紡(株) 代表取締役専務執行役員 Co-COO	山 岡 義 宗 神 原 裕 司 石 井 宏 幸 森 田 重 樹 那 須 信 夫 酒 井 太 市
幹 事	大阪学院大学 経営学部教授・大阪公立大学 特任教授 大阪ガス(株) 理事ガス製造・エンジニアリング事業部ガス製造部長 大阪工業大学 情報科学部データサイエンス学科教授 (公社)日本経営工学会 関西支部支部長 (株)カネカ 執行役員 信頼の生産力センター安全・安心の生産センター長兼企画部長 京セラ(株) 執行役員 生産技術開発本部長兼精機事業部長 住友精密工業(株) 執行役員 (株)パトライト 常務執行役員 生産本部長 村田機械(株) 取締役副社長 レンゴー(株) 常務執行役員 (上席)パッケージング部門生産本部、技術開発本部担当兼研究開発・環境経営推進部門担当	太 田 雅 晴 松 島 義 樹 皆 川 健多郎 山 田 正 信 井 上 和 幸 奥 野 寛 昭 畑 芳 人 村 田 洋 介 望 月 論
委員長	パナソニック ホールディングス(株) コーポレート R&D 戦略室 MI 技術企画部部長	蛭 原 裕
委 員	大阪学院大学 経営学部教授・大阪公立大学特任教授 大阪工業大学 情報科学部データサイエンス学科教授 大阪公立大学 大学院経営学研究科准教授 (株)カネカ 信頼の生産力センター生産 DX・CN グループモノづくり推進チームリーダー (株)神崎高級工機製作所 生産技術部部長兼 YWK 推進グループグループ長 京セラ(株) 生産技術開発本部エンジニアリング部野洲 IE 技術部野洲 IE 技術 2 課責任者 (株)クボタ 機械グローバルオペレーション本部製造統括ユニット KPS 推進部 KPS 人財開発課長 シスメックス(株) 機器生産本部製造部長 住友精密工業(株) 業務改革推進室担当部長 住友電気工業(株) 生産技術部モノづくり強化推進室長 ダイキン工業(株) 空調生産本部滋賀製造部兼フィルタ事業本部事業推進部モノづくり支援専任部長 ダイハツ工業(株) グローバル生産推進センター主査 東洋紡(株) TX・業務革新総括部主幹兼技術総括部主幹 (株)パトライト 生産本部生産部部長 村田機械(株) 製造本部生産技術部部長 桃山学院大学 ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科准教授 レンゴー(株) 理事パッケージング部門技術開発本部長	太 田 雅 晴 皆 川 健多郎 高 木 修 一 木 村 剛 宮 田 仁 坂 本 歩 植 田 和 憲 嶋 吉 大 後 藤 正 好 奥 谷 浩 人 小 倉 博 敏 杉 田 佳 隆 深 見 拓 也 橋 木 昭 一 稲 垣 太 郎 大 村 鍾 太 宮 本 恭 伸
		以 上

オンライン参加について

- ・オンラインでご参加の方は、本大会 HP より大会 1 日目の視聴確認をご確認の上、お申込みをお願いします。
- ・データ通信容量については受講者ご自身で確保をお願いします。通信速度 30Mbps 以上を推奨。
- ・ご講演内容の画面撮影・動画撮影・録音・SNS 投稿はご遠慮願います。
- ・参加者ご本人以外の視聴はお断りします。

1 日目 《10月27日(火)》10:00～16:40		[来場／オンライン併用開催]
【全体会議】10:00～12:10		
10:00	■開会挨拶 関西インダストリアル・エンジニアリング 協会会長 (パナソニック ホールディングス(株) MI本部本部長) 松本 敏宏	
10:10	■基調講演 「ロボットと共に歩むスマート社会：Wellbeingの新たなかたち」 川崎重工業(株) 執行役員 社長直轄プロジェクト本部長 兼 ソーシャルロボット事業戦略部長 加賀谷 博昭 氏 人口減少や社会課題の高度化が進む中、ロボットは単なる効率化の手段から、人と共に働き・暮らす“相棒”へと進化しつつあります。本講演では、人と機械が協調するこれからの社会のあり方を、Well-beingの視点から再定義します。現場起点の共創により生まれる新しい価値創出の考え方や、人の役割と技術の関係性の変化に着目しながら、安心・安全で持続可能なスマート社会の実現に向けた方向性と将来像を提示します。	
10:55	(休 憩)	
11:10	■特別講演 「サイバー攻撃によるシステム障害時の物流対応について～物流現場で何が起きていたのか！～」 アサヒグループジャパン(株) ロジスティクス戦略部 部長 井石 明伸 氏 昨年9月29日にアサヒグループが受けたサイバー攻撃。使用しているシステムが突然使用できなくなり、出荷停止を余儀なくされました。12月に業務を再開させましたが、どのように再開にこぎつけたかをお伝えします。	
12:10	(昼休憩)	
【事例発表会】13:10～16:40 ※会場の移動は自由です。		
	第1会場	第2会場
13:10	「ヤマハが進める楽器工場の現場改善DX ～「大きなDX」と「小さなDX」の両輪で進めるDX戦略」 ヤマハ(株) 楽器事業本部 生産企画統括部 製造企画部製造DXグループ・リーダー 宮田 智史 氏 ● ヤマハが進める製造DX戦略の概要 ● データ×IEで進める現場改善の事例 ● 現場でのAI活用への挑戦	「製造業におけるIoTを活用した省エネ型設備管理の実践」 アスカカンパニー(株) エネルギーマネジメントグループ部門責任者 渡邊 太郎 氏 ● ラズベリーパイを用いたエネルギーデータの常時監視システム ● 設備データの可視化によるエネルギー管理の実践 ● 設備異常の兆候をとらえる予知保全の実践
14:10	(休 憩)	
14:25	「川崎工場における市場変化に対応した生産プロセス革新」 花王(株) 川崎工場 工場長 古河崎 耕志 氏 ● 変化する環境での省人化活動 ● 新たに発生する課題に対応した品質向上活動 ● 工場操業以来、変わらない生物多様性への取り組み	「作業分析AIを活用した作業の可視化・標準作業の早期定着と改善サイクルの高速化」(仮題) (株)Ollio 取締役 CRO 白石 高志 氏 ● マニュアル作成における膨大な作業工数を削減 ● 動画AIで作業差分を可視化し習熟向上 ● 分析工数を大幅削減し、改善加速と標準作業の定着を実現
15:25	(休 憩)	
15:40	「体系的な学びとマインドセット変革を目指す『DXイノベーションアカデミー』 ～7つのスキルセットによるDX人財の育成～」 三菱電機(株) 人財・カルチャー変革統括部 グローバル人財部 人財イノベーションセンター センター長 長坂 英史 氏 DXイノベーションアカデミー長 目黒 正之 氏 ● 三菱電機の人的資本経営 ● DX人財を体系的に育成する「DXイノベーションアカデミー」 ● DX人財育成に向けた学びの拠点「横浜イノベーションスタジオ」	「需要変動に強いモノづくり ～超多品種・少量生産を松本工場の価値へ～」 パナソニック オートモーティブシステムズ(株) オペレーション本部 ファクトリー統括センター 所長 粟澤 学 氏 ● 車のSDV化 大量生産から多品種少量生産へ変化 ● モノづくりが変わる中 需要変化への追従力を強みへ ● 並行して新たな事に挑戦し続ける風土改革の取組
16:40	終了	

【A】 11:30 15:00	「社員が楽しく生き生きと生活し働く職場づくり～淡路島・夢舞台での挑戦～」 プライミクス(株) 本社工場 [兵庫県淡路市] ● 生産品目：高速攪拌機 ● 創業年(事業所)：2015 年 ● 従業員数(事業所)：217 名 《見学のポイント》 2015 年に大阪福島区から本社を淡路島に移転し、職住一体の職場づくりを行ってきました。プライミクス ブランドを体験していただく設備と仕組みづくりをご紹介します。 昼食は、同社の社員食堂“La Cantine”(ラ・カンティヌ)にて、淡路島の地場食材をふんだんに使い、「日本一楽しく、おいしい社員食堂」を目指す、健康的でサステナブルなメニューを体験します。
【B】 13:45 16:45	「物流と生産の一体最適化による現場変革」 村田機械(株) 加賀工場 [石川県加賀市] ● 生産品目：自動ワイナリー、VORTEX 精紡機 ● 創業年(事業所)：1973 年 ● 従業員数(事業所)：600 名 《見学のポイント》 ・「機械にできることは機械に任せ、人は人にしかできない仕事をする」という思想 ・自動倉庫・AGV・FMS による物流と加工の一体自動化 ・多品種変動対応と納期短縮 ・自社技術 (L&A、自動倉庫、工作機械) を活かした工場づくり ・順序生産と同期生産の両立 ・自動化が進む中での人材育成・保全力強化

【C】 13:45 16:45	「『人の能力』×『機械の力』で届ける一生モノ品質の住まい」 セキスイハイム工業(株) 近畿事業所 [奈良県奈良市] ● 生産品目：セキスイハイム(ユニット住宅) ● 創業年(事業所)：1971 年 ● 従業員数(事業所)：235 名 《見学のポイント》 大型機械設備を駆使し、熟練の職人技×機械の技術融合、高層ビルなどに用いられる建築技術を応用し、圧倒的な強さを確保しています。徹底した品質管理、工場ライン生産による効率化、自動化の推進による重筋作業の軽減など。
---	---

①同業者のご参加はお受けできない場合があります。 ②定員になり次第、受付を終了致します。③集合場所から、バスにて移動します。 ④「集合時刻・場所」などは、受付後にお送りする「現場見学会スケジュール」にてご確認ください。

■ 申込み要領 ■

- ご参加のお申し込みは、ホームページ(<https://www.kpcnet.or.jp/kiie>)よりお願いします。
- ご参加方法は、1 日目は「来場参加(大阪府立国際会議場)」又は「オンライン参加」からお選びください。
2・3 日目の現場見学会は、オプションとなります。
※来場参加・現場見学会は、定員になり次第、受付終了。事例発表会の会場移動は自由です。
- 「参加証」「請求書」は、派遣責任者あてに発送します。
- 大会資料は、ホームページからのダウンロード配付を予定しております。
- 大会終了後(約 1 週間後)より、アーカイブ配信(許可をいただいた講師のみ)を予定しております。
- オンライン参加の接続方法、大会資料のダウンロード方法は、ご参加者宛に 10 月 22 日(木)頃に E-mail でご連絡します。※お申込には、E-mail が必要です。

■ 申込締切日：2026 年 10 月 21 日(水) ※10 月 21 日(水)以降のお申込み取消しの場合、参加費はご返却致しません。

◆参加費 1 名につき(消費税を含む)。

会 員 区 分	1 日 目 (全 体 会 議 ・ 事 例 発 表 会)	2・3 日 目 現 場 見 学 会 (オ プ シ ョ ン)
主催・協賛団体の会員、他地区の IE 協会・生産性本部会員	33,000 円	(注)開催日により 2 コース選択可
一 般 (会 員 外)	42,900 円	1 コース参加 8,800 円
関西 IE 協会アカデミー会員、主催・協賛団体に加盟の学識者	16,500 円	2 コース参加 17,600 円
「学生」特別価格	3,300 円	

お問合せ

公益財団法人 関西生産性本部 関西 IE 協会
 担当：金谷(かや)・有本・西村
 〒530-6691 大阪市北区中之島 6-2-27 中之島センタービル 28 階 TEL：06-6444-6464
 E-mail kiie@kpcnet.or.jp ホームページ <https://www.kpcnet.or.jp/kiie>

※ 個人情報の取扱いについて
①参加申込によりご提供頂いた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ(<https://www.kpcnet.or.jp/>)をご参照願います。参加者・派遣者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込み頂きますようお願いいたします。②個人情報は、本事業実施に関わる資料作成、ならびに当本部が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内および顧客分析・市場調査のために利用させていただきます。③本事業実施に関して必要な範囲で参加者名簿等の資料を作成し、当日講師と関係者等に限り配付させていただきます。但し、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。④個人情報の開示、訂正、削除については、本事業担当(TEL:06-6444-6464)または個人情報保護担当窓口(TEL:06-6444-6461)までお問合せ下さい。⑤本案内記載事項の無断転載をお断りします。